

# 浜松市教育委員会会議次第

令和4年2月25日（金）

14時00分

教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の報告及び承認

3 会議録署名人の決定（安田委員、田中委員）

4 会期の決定

5 議 事

（1）議 案

【議決案件】

第5号議案 浜松市教育職員の給与に関する規則の一部改正について （教職員課）

（2）報 告

ア 令和4年度発達支援学級新設予定校について （教育総務課、指導課）

イ 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」浜松市の結果（概要）について  
（指導課）

ウ ※非公開

エ ※非公開

6 閉 会



第 5 号 議 案

令和 4 年 2 月 2 5 日 提出

浜松市教育職員の給与に関する規則の一部改正について

浜松市教育職員の給与に関する規則の一部を改正する規則を次のように定める。

教育長 宮 崎 正

浜松市教育職員の給与に関する規則の一部を改正する規則（案）

浜松市教育職員の給与に関する規則（平成 2 9 年浜松市教育委員会規則第 1 3 号）の一部を次のように改正する。

改正前			改正後		
(へき地手当等)			(へき地手当等)		
第 5 5 条 (略)			第 5 5 条 (略)		
2 給与条例第 2 1 条第 1 項に規定する前項に規定する小学校、中学校及び共同調理場に準じる小学校、中学校及び共同調理場で教育委員会規則で定めるもの（以下「へき地学校に準じる学校」という。）は、 <u>浜松市立犬居小学校</u> とする。			2 給与条例第 2 1 条第 1 項に規定する前項に規定する小学校、中学校及び共同調理場に準じる小学校、中学校及び共同調理場で教育委員会規則で定めるもの（以下「へき地学校に準じる学校」という。）は、 <u>浜松市立横山小学校</u> とする。		
3～5 (略)			3～5 (略)		
別表第 9 (第 5 5 条関係)			別表第 9 (第 5 5 条関係)		
	名称	級別区分		名称	級別区分
小学校	<u>浜松市立熊小学校</u>	1級	小学校	<u>浜松市立熊小学校</u>	2級
	<u>浜松市立横山小学校</u>			<u>浜松市立気田小学校</u>	
	<u>浜松市立気田小学校</u>			1級	
	<u>浜松市立浦川小学校</u>				<u>浜松市立犬居小学校</u>
	<u>浜松市立佐久間小学校</u>				<u>浜松市立浦川小学校</u>
	<u>浜松市立水窪小学校</u>				<u>浜松市立佐久間小学校</u>
	<u>浜松市立水窪小学校</u>	<u>浜松市立引佐北部小学校</u>			
中学校	<u>浜松市立春野中学校</u>	1級	中学校	<u>浜松市立春野中学校</u>	2級
	<u>浜松市立水窪中学校</u>			1級	
	<u>浜松市立佐久間中学校</u>				<u>浜松市立水窪中学校</u>
					<u>浜松市立佐久間中学校</u>
			<u>浜松市立引佐北部中学校</u>		

共同調理場	浜松市春野学校給食センター	<u>1級</u>	共同調理場	浜松市春野学校給食センター	<u>2級</u>
-------	---------------	-----------	-------	---------------	-----------

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

#### 附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日（以下「施行日」という。）の前日において改正前の浜松市教育職員の給与に関する規則（以下「改正前の規則」という。）別表第9に定める学校に勤務していた職員で、施行日以後引き続き当該学校に勤務する場合（当該学校の移転があった場合を除く。）において改正後の浜松市教育職員の給与に関する規則の規定によるへき地手当の月額（以下「新へき地手当の月額」という。）が施行日の前日における改正前の規則の規定によるへき地手当の月額（以下「旧へき地手当の月額」という。）に達しないこととなるものについては、施行日以後の新へき地手当の月額が当該職員に係る旧へき地手当の月額に達するまでの間、当該旧へき地手当の月額に相当する額のへき地手当を支給する。
- 3 前項に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

浜松市教育職員の給与に関する規則の一部改正について

(提案理由)

へき地教育振興法（昭和29年法律第143号。以下「法」という。）第5条の2に規定するへき地手当等について、同法に基づく、へき地教育振興法施行規則（昭和34年文部省令第21号。以下「へき地規則」という。）第13条の規定による指定の見直しの結果を反映するため、規則の一部を改正するものです。

(改正内容)

(1) 指定の見直し調査について

へき地規則において、おおむね6年ごとに調査を行い、へき地手当等の支給基準の見直しを行うことが規定されております。直近の支給基準の見直しが平成28年4月に実施されておりますので、6年目に当たる令和4年4月の見直しに向けた調査を実施し、その結果に基づいて規則改正を行うものです。

(2) 調査結果について

別表第9のとおり調査結果に基づきへき地学校を指定し、横山小学校をへき地学校に準じる学校に指定するものです。

(3) へき地手当等について

法に基づき、へき地規則に規定する基準によって決定されたへき地学校等に勤務する教職員にへき地手当及びへき地手当に準じる手当を支給します。支給割合については、調査により指定された級地等に基づいて決定されます。

(施行期日等)

この規則は、令和4年4月1日から施行するものです。

なお、横山小学校に勤務する教職員でへき地手当の支給対象である者については、施行日前から引き続いて同校に勤務する場合に、従前の支給割合のへき地手当を支給する経過措置を設けるものです。



## 令和4年度 発達支援学級新設予定校について

教育総務課 就学支援担当  
指導課 教育総合支援担当

1 新設予定校 10校 小学校8校（知的6・自情2）  
中学校2校（自情2）

学校名…発達支援学級新規開設の学校

	学 校 名	学 級 種	学級数
1	城北小学校	知的	1
2	和田小学校	知的	2
3	豊西小学校	知的	1
4	神久呂小学校	知的	1
5	大平台小学校	知的	1
6	北浜南小学校	知的	1
7	飯田小学校	自閉症・情緒	1
8	入野小学校	自閉症・情緒	1
9	蜷塚中学校	自閉症・情緒	1
10	入野中学校	自閉症・情緒	1

・学級数は令和4年2月1日現在

2 令和4年度設置校数・設置率（分校除く）※

- (1) 小学校 96校中 76校（新規6校） 設置率 79.2% (R3:72.9%)  
 (2) 中学校 48校中 43校（新規1校） 設置率 89.6% (R3:87.5%)  
 (3) 全体 144校中 119校（新規7校） 設置率 82.6% (R3:77.8%)

※知的、自・情の双方またはいずれかを設置している学校数

3 通学区域

（別紙）「浜松市立小・中学校発達支援学級通学区域（案）」





浜松市立小・中学校発達支援学級通学区域(案)

令和4年4月1日改定予定

《知的学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位)
東部中	東部中	相生小	相生小
		飯田小	飯田小
西部中	西部中	県居小	鴨江小 西小 県居小
南部中	南部中	双葉小	白鷗小 竜禅寺小 双葉小 (※中学校は住所で南部中、江西中に分かれる)
江西中	江西中	浅間小	浅間小
南陽中	東陽中 南陽中	芳川小	河輪小 芳川北小 芳川小
江南中	江南中	南の星小	砂丘小 (江南中学校区) 南の星小
北部中	中部中 蜷塚中 北部中	追分小	中部小 広沢小 追分小
		城北小 (新設)	城北小 (※中学校は住所地で北部中、高台中に分かれる)
高台中	高台中	泉小	泉小 (※中学校は住所地で北部中、高台中に分かれる)
		萩丘小	萩丘小
富塚中	富塚中	富塚西小	富塚小 富塚西小
佐鳴台中	佐鳴台中	佐鳴台小	佐鳴台小
天竜中	天竜中	和田小 (新設)	和田小
		中ノ町小	和田東小 中ノ町小
八幡中	八幡中	船越小	東小 船越小
丸塚中	丸塚中	佐藤小	佐藤小
		蒲小	蒲小
曳馬中	曳馬中	曳馬小	曳馬小
		上島小	上島小
笠井中	笠井中	豊西小 (新設)	豊西小
		笠井小	笠井小
与進中	与進中	与進小	与進小
		与進北小	与進北小
積志中	積志中	積志小	有玉小 積志小
中郡中	中郡中	中郡小	大瀬小 中郡小
三方原中	三方原中	三方原小	三方原小
		豊岡小	豊岡小
都田中	都田中	都田南小	都田小 都田南小
北星中	開成中 北星中	葵が丘小	葵が丘小
		瑞穂小	花川小 瑞穂小
		初生小	初生小
		葵西小	葵西小
入野中	入野中	入野小	西都台小 入野小
		大平台小 (新設)	大平台小
湖東中	湖東中 神久呂中	神久呂小 (新設)	神久呂小
		伊佐見小	伊佐見小
		和地小	和地小
庄内中	庄内中	庄内小	村楡小 庄内小
篠原中	篠原中	篠原小	篠原小
可美中	可美中	可美小	可美小
新津中	新津中	新津小	砂丘小 (新津中学校区) 新津小
舞阪中	舞阪中	舞阪小	舞阪小
雄踏中	雄踏中	雄踏小	雄踏小

浜松市立小・中学校発達支援学級通学区域(案)

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位)
浜名中	浜名中	浜名小	浜名小
		内野小	内野小
北浜中	北浜中	北浜小	伎倍小 北浜小
		北浜南小(新設)	北浜南小
浜北北部中	浜北北部中	中瀬小	中瀬小
		赤佐小	赤佐小
亀玉中	亀玉中	亀玉小	亀玉小
		新原小	新原小
北浜東部中	北浜東部中	北浜東小	北浜東小
		北浜北小	北浜北小
清竜中	清竜中	二俣小	下阿多古小 上阿多古小 熊小 二俣小
光が丘中	光が丘中	光明小	光明小
		横山小	横山小
春野中	春野中	犬居小	犬居小
		気田小	気田小
	佐久間中		佐久間小 浦川小
	水窪中	水窪小	水窪小
細江中	細江中	気賀小	西気賀小 伊目小 気賀小
		中川小	中川小
引佐南部中	引佐南部中	金指小	金指小
		奥山小	奥山小
		井伊谷小	井伊谷小(中学校は引佐南部中)
引佐北部中	引佐北部中		引佐北部小(中学校は引佐北部中)
三ヶ日中	三ヶ日中	三ヶ日西小	平山小 尾奈小 三ヶ日東小 三ヶ日西小

浜松市立小・中学校発達支援学級通学区域(案)

《自閉症・情緒学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位)
西部中	江西中 西部中	県居小	浅間小 鴨江小 西小 双葉小 (江西中学校区) 県居小
南部中	南部中	竜禪寺小	白脇小 双葉小 (南部中学校区) 竜禪寺小
中部中	北部中 高台中 (萩丘小学校区を除く) 中部中	中部小 泉小	中部小 城北小 泉小 追分小 (北部中学校区)
蜷塚中 (新設)	蜷塚中	広沢小	広沢小 追分小 (蜷塚中学校区)
八幡中	曳馬中 丸塚中 八幡中	佐藤小 曳馬小	東小 船越小 蒲小 佐藤小 上島小 曳馬小
天竜中	天竜中	和田東小	和田小 中ノ町小 和田東小
与進中	与進中	与進小 与進北小	与進小 与進北小
笠井中	笠井中	笠井小	豊西小 笠井小
南陽中	江南中 東部中 東陽中 南陽中	飯田小 (新設) 芳川北小 南の星小	相生小 飯田小 芳川小 芳川北小 河輪小 砂丘小 (江南中学校区) 南の星小
北星中	開成中 北星中 高台中 (萩丘小学校区)	萩丘小 葵が丘小 初生小	萩丘小 花川小 瑞穂小 葵が丘小 葵西小 初生小
湖東中	神久呂中 湖東中	和地小	神久呂小 伊佐見小 和地小
庄内中	庄内中	庄内小	村楯小 庄内小
中郡中	積志中 中郡中	中郡小 有玉小	大瀬小 中郡小 積志小 有玉小
三方原中	三方原中	三方原小	豊岡小 三方原小
都田中	都田中	都田南小	都田小 都田南小
入野中 (新設)	入野中	入野小 (新設)	西都台小 大平台小 入野小
佐鳴台中	佐鳴台中	佐鳴台小	佐鳴台小
富塚中	富塚中	富塚小	富塚西小 富塚小
篠原中	篠原中	篠原小	篠原小
可美中	新津中 可美中	新津小 可美小	砂丘小 (新津中学校区) 新津小 可美小
雄踏中	舞阪中 雄踏中	舞阪小 雄踏小	舞阪小 雄踏小
浜名中	浜名中	浜名小 内野小	浜名小 内野小
北浜中	北浜中	北浜小 伎倍小	北浜南小 北浜小 伎倍小
北浜東部中	北浜東部中	北浜北小	北浜東小 北浜北小
浜北北部中	浜北北部中 龜玉中	中瀬小 赤佐小 龜玉小	中瀬小 赤佐小 新原小 龜玉小
清竜中	清竜中	二俣小 上阿多古小	二俣小 熊小 下阿多古小 上阿多古小
光が丘中	光が丘中	光明小	横山小 光明小
	春野中	気田小	気田小 犬居小
	佐久間中	佐久間小	佐久間小 浦川小
	水窪中		水窪小

浜松市立小・中学校発達支援学級通学区域(案)

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位)
細江中	細江中	気賀小	西気賀小 伊目小 気賀小
		中川小	中川小
引佐南部中	引佐北部中 引佐南部中	井伊谷小	金指小 奥山小 引佐北部小 井伊谷小
三ヶ日中	三ヶ日中	三ヶ日西小	平山小 尾奈小 三ヶ日東小 三ヶ日西小

《難聴学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域
中部中	市内全域	中部小	中区 東区 西区 南区 北区
		中瀬小	浜北区 天竜区

《肢体不自由学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域
北部中	中区 東区 北区	追分小	中区 東区 北区
	西区 南区	雄踏小	西区 南区
浜北北部中	浜北区 天竜区	赤佐小	浜北区 天竜区

《弱視学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位とする)

《病弱学級》

中学校名	通学区域	小学校名	通学区域 (小学校区を単位とする)
積志中	市内全域	有玉小	市内全域 (ただし、学級は浜松医大病院内)

## 「令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」浜松市の結果(概要)について

## 指導課

## 1 参加人数・参加校

小学校5年生 人数 6,937人 (内訳: 男子 3,535人、女子 3,402人) 参加校 96校  
 中学校2年生 人数 6,284人 (内訳: 男子 3,289人、女子 2,995人) 参加校 49校

## 2 調査結果について

## (1) 実技調査結果

※全国平均を上回る種目 ゴシック太字、下回る種目 下線

小学校5年生	種目	体力合計点(点)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ソフトボール投げ(m)
男子	全国	52.53	16.22	18.89	33.49	40.36	46.85	9.45	151.43	20.58
	浜松市	<u>52.40</u>	<u>15.82</u>	<b>19.07</b>	<u>32.86</u>	<u>40.27</u>	<b>48.20</b>	<b>9.42</b>	<u>150.64</u>	<u>20.25</u>
女子	全国	54.66	16.09	18.07	37.92	38.73	38.16	9.64	145.22	13.30
	浜松市	<b>54.74</b>	<u>15.72</u>	<u>17.83</u>	<u>37.62</u>	<b>39.14</b>	<b>40.00</b>	<b>9.61</b>	<u>144.46</u>	<b>13.44</b>
中学校2年生	種目	体力合計点(点)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走(秒) 男子1500m 女子1000m	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ハンドボール投げ(m)
男子	全国	41.05	28.78	25.89	43.58	51.17	407.22	8.01	196.31	20.24
	浜松市	<b>41.71</b>	<u>28.12</u>	<b>26.80</b>	<b>44.73</b>	<b>52.15</b>	<b>392.79</b>	<b>7.91</b>	<b>197.88</b>	<b>20.36</b>
女子	全国	48.41	23.38	22.22	46.20	46.25	298.34	8.88	168.00	12.64
	浜松市	<b>50.13</b>	<b>23.44</b>	<b>23.45</b>	<b>48.18</b>	<b>46.87</b>	<b>288.66</b>	<b>8.78</b>	<b>171.78</b>	<b>13.13</b>

本市では、小学校男女の種目で、全国平均を下回るものが見られた。全国的にも運動機会が減ったことによる体力低下が明らかとなっているが、本市も同様であり、運動機会の充実が必要である。

昨年度、投力向上の参考資料を小学校へ配付したが、今年度の結果につながっていないため、継続的な取組を呼びかけていく。

今後も、調査報告書に記載されている取組事例を紹介したり、各校において、自校の状況を分析したりして、運動機会の充実に努めていく。

## (2) 質問紙調査(運動習慣、生活習慣等)結果(一部抜粋)

※全国平均を上回る種目 ゴシック太字、下回る種目 下線

質問	小学校男子		小学校女子		中学校男子		中学校女子	
	全国	浜松	全国	浜松	全国	浜松	全国	浜松
体育の授業は楽しい	93.8	<b>95.0</b>	89.2	<b>91.5</b>	90.1	<b>93.9</b>	83.0	<b>83.7</b>
運動やスポーツが好き	91.0	<b>91.4</b>	83.7	<b>84.4</b>	87.2	<b>88.4</b>	75.4	<u>73.7</u>
運動やスポーツが大切	92.7	92.7	90.1	<b>90.6</b>	93.2	<b>94.2</b>	89.4	<u>89.2</u>
卒業後も授業以外で運動をした と思う	87.9	<b>88.5</b>	84.1	<b>84.8</b>	86.0	<b>87.4</b>	79.1	<u>79.0</u>

本市では、小、中学校男女で「体育の授業は楽しい」と答えた子供の割合が全国平均を上回っている。また、小学校女子、中学校男子では「運動やスポーツが好き」「運動やスポーツが大切」と答えた子供が全国平均を上回っている。一方、中学校女子で「運動やスポーツが好き」「運動やスポーツが大切」と答えた子供の割合が全国平均を下回っている。

また、「卒業後も授業以外で運動をしたいと思う」と答えた子供の割合は、小学校男女、中学校男子で全国平均を上回っているが、中学校女子では、全国平均を下回っている。

### (3) 分析

本市の小学校5年生の体力合計点と質問紙調査との相関関係は、以下のとおりである。

#### ① 質問紙項目「体育の授業で動く」

		たくさん運動する	だいたい運動する	あまり運動しない	ほとんど運動しない
合計点 (点)	男	54.2	48.5	47.1	51.3
	女	56.5	51.9	48.4	50.6

「たくさん運動する」と回答した児童は、「全く運動しない」と回答した児童より、男女ともに体力合計点の平均が3～6点高い傾向がある。

#### ② 質問項目「一週間の総運動時間（体育の授業以外で運動や体を動かす遊び、スポーツをする時間の合計）」

		420分以上	60～420分未満	～60分未満	0分
合計点 (点)	男	56.7	49.1	44.6	44.0
	女	59.4	53.8	49.5	49.5

一週間の総運動時間が「420分以上」と回答した児童は、「0分」と回答した児童より、男女ともに体力合計点の平均が10～12点高い傾向がある。

#### ③ 質問紙項目「体育の授業は楽しい」

		楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
合計点 (点)	男	53.9	48.7	47.7	47.7
	女	57.0	52.1	49.8	49.0

「楽しい」と回答した児童は、「楽しくない」と回答した児童より、男女ともに体力合計点の平均が6～8点高い傾向がある。

#### ④ 質問項目「中学校でも授業以外で自主的に運動したい」

		思う	やや思う	あまり思わない	思わない
合計点 (点)	男	55.1	49.3	46.3	43.6
	女	57.3	53.0	50.2	48.9

「思う」と回答した児童は、「思わない」と回答した児童より、男女ともに体力合計点の平均が8～11点高い傾向がある。

#### ⑤ 質問項目「運動は大切だと思う」

		大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない
合計点 (点)	男	54.6	48.8	46.0	41.1
	女	56.9	52.6	49.5	47.6

「思う」と回答した児童は、「思わない」と回答した児童より、男女ともに体力合計点の平均が9～13点高い傾向がある。

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、授業以外の休み時間や放課後の遊びの時間が減っているが、感染症対策を講じながら、体育科・保健体育科の授業内での運動機会と運動量を確保するよう研修会等で周知していきたい。
- 子供が体育科・保健体育科の授業を楽しんでいることは、運動やスポーツ好きの子供を育成するための第一歩となる。授業での学びが、自分の生活やこれからの将来に役立つことを実感できるよう、授業の充実に努めたい。また、子供が授業以外でも「運動が楽しい」「取り組みたい」と思える意識を、学校教育活動全体を通じて高め、望ましい運動習慣の育成を目指したい。